

『広報担当者向けマーケティング研修』 アンケート集計

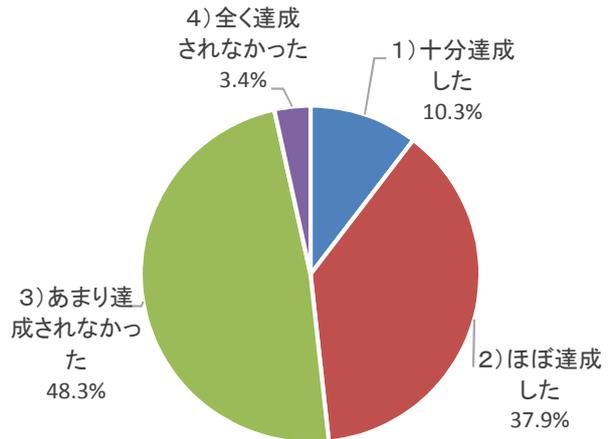
- 実施日:平成30年8月7日
- 場所:AP品川アネックス Aルーム
- 回答者:専門学校教員 29名 (受講者:29名)
- アンケート結果

Q1.この研修を受講された目的は？

- ・今後の学生募集について少しでも役立つヒントを勉強する為。
- ・学校広報の参考にするため。
- ・上司に命じられてでしたが、私自身SNSを広報にうまく活用できたらいいなと思っていたからです。
- ・高校生のSNSを使う頻度や使い分け、どの様なSNSに興味を持つのかを知りたいと思ったから。
- ・日進月歩のインターネットにおいて、新しい技術を学ぶために受講しました。
特にチャットボットは導入校も多くな、早々に学ぶべきだと思いました。
- ・SNS活用事情における最新情報の収集と、チャットボットの基礎知識確認および活用情報の収集。
- ・マーケティングについて基礎から学びたかった為。
- ・SNSの現状把握とチャットボットの導入検討。
- ・近年の若年層への効果的なアピール方法を知るため。
- ・学校の募集活動にSNSをどうやって活用すればいいのか。
- ・SNSの活用事情を詳しく知りたかった。チャットボットの将来性を確認したかった。
- ・SNSとチャットボット活用に興味があったため。
- ・開発に活かすためのヒントを得たいと思い。
- ・中・高校生の現状を確認し、学生募集に活かしたい。
- ・学校の広報活動の一環でSNSの強化をしたいから。
- ・SNS活用の具体例からヒントをもらいたい。
- ・AIの動向について知りたい。
- ・効果的なSNSの活用は？
- ・学生募集活動で、SNSを今まで以上に活用できるヒントなどをお聞きする等。
- ・学生募集業務、当校のブランディング戦略に活用したい。
- ・広報担当になったばかりだから。
- ・強制的に参加するように申しつかったため。今よりもうまくSNSを(学生募集に)活用させたかったため。
- ・SNSにうといから。
- ・SNSを活用した募集を強化する為。
- ・知らない知識を身に付けるため。
- ・担当者任せになっている為。
- ・SNSを活用した広報活動をより有効なものにするため、参加しました。
- ・本校の広報活動に活かしたい。
- ・自己研鑽、SNS活用法。
- ・主にHPやDM、チラシなどのデザイン制作をしておりますが、HPやSNSには課題が多く、
今後はより活用ができる様に受講しました。

Q2.上記目的はどの程度達成されましたか？

項目	回答数	%
1)十分達成した	3	10.3%
2)ほぼ達成した	11	37.9%
3)あまり達成されなかった	14	48.3%
4)全く達成されなかった	1	3.4%
合計	29	100.0%



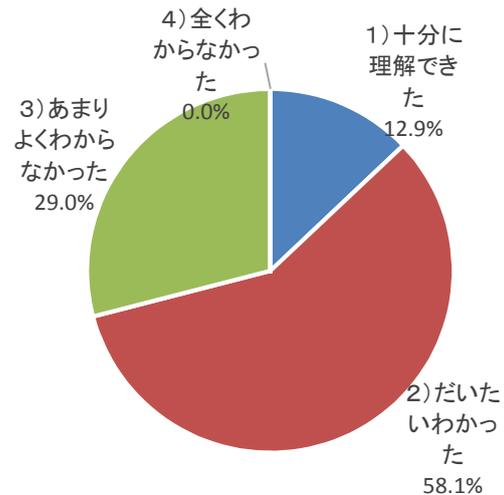
<3)また4)の理由>

- ・情報が偏向
- ・あまり内容が伝わってこなかった。ちょっと難しい。
- ・学校広報に関するテーマとしては大きくかけ離れていた。
- ・学生募集においてどのように有効なのか？がわからなかった。
- ・(SNS)の重要性や10代が重きをおいているSNSの種類などはわかったが、では具体的にどのようにアプローチをすべきなのかなど、もっと掘り下げて聴けると思っていたため。
- ・SNS:正解がないものであり
チャットボット:現状学校広報としてのサービスは未完のものであった
- ・SNS運用のライタースキルやポイント部分、投稿サンプルをもっと見たかった
- ・SNSのキャンペーンは何かもらえる？キャンペーンの具体内容をもう少し知りたかった。
- ・文章の作り方や#(ハッシュタグ)の考え方「検索されやすい#など、調べ方など」を知りたかった。
専門学校向けのセミナーである事から、事例等は企業ではなく大学・専門学校の事例が知りたかった。
- ・SNS運用については導入できていて、事例や成功例についてをもっと紹介してほしい。
- ・具体的な事例をもっと欲しい(SNS)。
- ・アフターフォロー(講師とのつながり)があると良い。
- ・チャットボットについては、中身の話(使用するとしたらの前提)が多く、学校としてのメリットや今後の展開、必要性などがあると良かった。
- ・チャットボットとは、から始めた方が良かった。
→おそらく参加者の方は内容の理解をされていないと思われます。
- ・具体的な事例をもう少し聞きたかった。
また、今回は専門学校のみでのセミナーであるのに、大手企業の事例を紹介されても参考にならない。
- ・研修というより講師所属企業のPRの部分が多かったため。
- ・広報は「一般に広く知らせること」であるが、後半は広報とは内容が少し異なっていた。
- ・高校生の全般的な利用状況は分かるが、もっと深く、例えば高校生の属性による使用状況(コンピュータ分野や事務を仕事として興味がある学生の中でのTwitterの利用状況とか)
- ・前半のセミナーではSNSの全体的な特徴を知ることができたが、実際の活用方法まで踏み込んだものではなかった。
- ・ほぼ知っている内容だったため、新たな知識、情報の収集につながらなかった。
- ・目的に対しては確認程度だが、チャットボットなどについての知識は理解できたので。

Q3. 現在の中学・高校生のSNS活用事情、SNSのそれぞれの特徴を知り、SNS・チャットボット(AI)を活用した広報活動を行う応報について、理解することができましたか？

項目	回答数	%
1)十分に理解できた	4	12.9%
2)だいたいわかった	18	58.1%
3)あまりよくわからなかった	9	29.0%
4)全くわからなかった	0	0.0%
合計	31	100.0%

※回答数は第一部と第二部に対しての回答含む



〈3)また4)の理由〉

- ・AIと広報、具体例を示してほしかった。
- ・大企業向けの事例が多く、小規模な活動とかけ離れていたように感じました。
- ・具体的に効果が上がる事例を例えば学校でのケーススタディとして紹介してほしい。
- ・現時点で取り組んでいる、分かっている以上の話は特になかった。
- ・専門学校でそういった使い方が考えられるか、具体案まで見たかった。
- ・SNSはFacebook、チャットボットは？と短い時間なのか焦点が分かりづらかった。AIの話？
- ・チャットボットが募集において何が有効なのかわからない。テクニカルな話よりも有効性を知りたかった。
- ・沢山の学科がある場合などのユーザー対応には有効と考えるが、1~3学科程度ではコストには見合わないと思う。
- ・チャットボットとSNSを組み合わせ活用した広報については話がほぼなかったため。チャットボットは導入の必要が狭すぎる。SNS発信・自動チェックについて(後半8P)の方が話して欲しかった。
- ・資料の流れが早く、話が一方通行なので、良く分からなかった。利用例を紹介してくれていたのも、実際に動かして欲しかった。(何が適して、何が適さないか話を聞くより分かりやすいと思います)
- ・チャットボットを活かした広報活動の内容が少ない印象でした。また、SNSについても時間も浅い内容だったと思います。
- ・本校にチャットボットを取り入れようとする雰囲気無く、正直あまり興味がなかったため。

Q4. 今回の研修について良かった点や悪かった点など感想をお聞かせください。

- ・「知る」から「つながる」までのつなげ方がイメージしやすかった。ハッシュタグでの情報共有や顕在顧客へのリプライが友好的だと感じました。チャットボットFAQを上手く使えば、直接対応が苦手な方にも、気持ち良く使って頂けると感じました。
- ・課題が少し見えたような気がしました。主にTwitterを活用していますが、今後「知る」→「つながる」を意識して考えてみようと思いました。本日はありがとうございました。
- ・1部につきましては、今当校でやっている取組は問題ない事の確認、現在これ以上の事はないと理解できました。
- ・AIや人工知能の利用、SNSの実態について知れた。
- ・SNSの話もチャットボットも、それをどう使うと効果がある、という研修であってほしかった。研修の意味が不明瞭だったと思う。
- ・SNSの運用についても課題等が見つかり、今後の改善につなげられそうで非常に為になりました。本校は入試等の問い合わせなども非常に多いため、チャットボットがあれば、少しは人手不足も解消できるのかも…と思いました。
- ・主な対象となる高校生のSNSの利用実態などが分かった。いろいろなやり方を試していく必要があり、答えはないということが明確になった。

- ・学校の先生を相手にしているので大変だったと思います。
- ・学校の担当者として聞く立場なので、実際の活用事例などを企業でなく専門学校に関連した内容でないと意味がないと思います。
- ・企業のSNS運用事例が参考になりました。情報発信するだけでなく、いかにそれを共有してもらえるかという観点も含めて運用していきたいと思います。
今回の内容では、チャットボットよりもSNSの方でもう少し時間があれば良かった。
- ・広報に直に活かせる情報が少なかった。
- ・このセミナーは企業のサービス宣伝は要りますか。
- ・今回の研修は専門学校の広報担当者にもっとヒアリングを行い、悩みを抽出してから内容を精査するべきだったと思います。
- ・知っている点多かった。
- ・若年層の好むSNSでインスタグラムの良さを説く記事が多い中、Twitterの説明が多く、参考になりました
- ・第一部: SNSの利用方法について、よく分かりました。
第二部: チャットボットの解説よりチャットボットを採用することのメリット(対効果)が知りたかった。
- ・チャットボットについて仕組みなどが良く理解できました。LINEQにて検討しようと思いました。
- ・チャットボットについての理解が進みました。
- ・チャットボットの理解、構築方法。授業等に取り入れたい。
- ・踏み込んで考えていないアクションを知ることができました。
- ・目的に加えて、社内共有できる話題も得られた。
- ・もっと突っ込んだSNSの活用を知りたかった。
ただ、現状のSNSの事情等、具体的に知ることが出来たのは良かった。
- ・料金の発生するセミナーだったため、もう少し深い話が拝聴できるものと期待していた。
”広報担当”として参加している、参加が求められたセミナーだと理解していたが、明日からの広報活動に活用できる参加料金以上のものではなかった。

Q5.今後の研修会で取り上げてほしいテーマなどをお聞かせください。

- ・専門学校の広報を実際に携わった方の意見・提案も聞いてみたい
- ・日本人の入学生が増加した学校の取り組み事例
- ・グーグルアナリティクス活用方法及び活かした募集戦略
- ・潜在顧客の具体的な発掘方法
- ・他校のSNS成功事例
- ・興味を引くSNSの投稿方法
- ・高大接続対応、専門学校知名度UP方法(職業・職種含む)
- ・SEOを意識したHPの構築の仕方
- ・SNSの発信については、今日ご教示いただき、今後の取り組みについてイメージも沸いてきましたので、次はHPについても運用面で何を発信するか、何度も訪れてもらう、入試の出願までにつなげていくには、などを取り上げて頂けると幸いです。
- ・SNS発信する際の具体的に良い方法とか(見せ方や考え方)など
- ・SNSを使用した募集、SNS内の広告の活用等どのようにとっかかりを作るか、具体的に。
- ・新たな広報の取り組みについて。シェアリングエコノミーを活用した広報などについて。
- ・各校の広報戦略を知りたい。難しいとは思いますが宜しくお願いします。
- ・各校の働き方とITの仕組み作りを共有できる機会が欲しいです。
- ・高校生のSNS活用事情について掘り下げた内容があれば是非受講したいと思います。
- ・サイトのアクセス解析(GA等)
- ・専門学校対象なら、せめて学校事例や効果のある広報施策を紹介するセミナーを企画してください。
- ・専門学校でのSNS導入事例(成功・失敗)
- ・他校と情報共有し、悩みを解決するような場だと広報に活かしやすいと思います。
- ・テーマと内容をしっかりリンクするものにしていただきたい。
- ・テーマを変更する必要はないと思うが、また何が正解で何が間違いということもないと第一部で拝聴した

企業の事例ではなく、大学・短大・専門学校の成功例をあげていただきたい。企業と学校は異なる。

・留学生ビジネス

Q6. 其他のご意見、ご希望をお書きください。

- ・『広報担当者向けセミナー』ではない印象。
- ・概要はもちろんです、担当が具体的にどのような写真掲載(ルール含む)、やり方、ハッシュタグの有効例などの事例があると尚良いと思う。
- ・募集状況が全体的に厳しい状況の中、遠方からもいらした方を考慮すると実用的に今後すぐ活用できる内容のものも取り入れた方が良いのではないかと。
- ・「SNSのファンを増やす」の部分で、企業様の事例がいくつか有りましたが、専門学校での運用事例が有れば更に良かったです。
- ・御社の事業でオンライン集客との記載と簡単なご説明がありましたが、具体的にはサービス内容について知りたかったです。(研修には関係ないのですが…)
- ・開催時期の見直しをお願いしたいです。(夏参加は難しいです)
- ・これからの学校広報ではなく、後半は「Botを導入するには」というセミナーになっていたのも、そうではなくどのような広報があり、どのように活用すべきかというような広く浅い内容にしてほしい。狭く深い内容だとそれをやる予定が無ければ意味がない。
- ・専門学校は一般企業の顧客と違い、一生に一度の出来事(教育を受ける機会)に向けて広報しなければいつか届くかもしれないという長期的な活用法より、直接的に高校生に伝えるための活用法のセミナーを行った方が良い。
- ・白紙の上で考える時間をもててよかった。なかなか業務の中でしっかり時間をとることがむずかしい。飲物が出るとうれしかった。本日はありがとうございました。
- ・こういったアンケートは無記名でおこなうべきだと思います。

以上

きました。

もらえるか、

になりました。

ていくには…

で拝聴したが、

ならない。